

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 総務事務センター

担当名: 財務・旅費・文書管理システム担当

内線: 2378

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B18	A I による総務事務センター業務高度化事業費			一般会計	総務費	総務管理費	一般管理費	総務事務集中管理費		
事業期間	平成30年度～	根拠法令	なし				宣言項目			
1 事業概要				5 事業説明						
<p>業務システム（文書管理システム、財務会計システム、旅費システム）及び総務事務システムは県の業務の基幹のシステムである。 当該システムを効率的かつ高度に運用するためA I 等の技術を活用する。</p> <p>契約差金による減額 (1) A I による総務事務センター業務高度化事業費 △22,701千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>問合せ自動応答システムの構築・稼働 33,696千円</p> <p>ア システム構築 30,456千円 (ア) A I 活用アセスメント、学習モデル構築 7,560千円 (イ) 問合せ自動応答構築業務 22,896千円</p> <p>イ 検証用初期投入データの作成 3,240千円</p> <p>(2) 事業計画 ア H30 よくある質問へのA I による自動応答（県庁職員向け（FAQ）） イ H31 ヘルプデスク支援システム（ヘルプデスク向け） ウ H31 事務センター業務支援システム（センター職員向け）</p> <p>(3) 事業効果 職員の利便性の向上と業務の効率化・高度化及びA I の導入及び活用ノウハウの取得</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 A I によるワンストップ行政案内サービスの実現（情報システム課のA I 事業との連携）</p> <p>(5) 補正予算の概要 A I による総務事務センター業務高度化業務委託の契約差金による減額</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） (区分) 包括算定経費（細目）企画費 (細節) 情報管理等費 (積算内容) 電子計算機による情報処理、運用等										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円										
				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額	
予算額										
決定額	△22,701								△22,701	10,995
現計額	33,696								33,696	